

# 中学校・第1年・美術科・私のにいがた文様（デザイン）①

## 育成を目指す資質・能力

附属新潟中学校提供

新潟のよさや特徴を生活で活用する文様にするために、新潟の自然や特産品などの特徴から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた文様の美しさや配列などを考え、表現の構想を練る。（思考力、判断力、表現力等）

## ICT活用のポイント

- 文様のユニットのアイデアを考える場面では、ICT端末を活用することで、大きさや方向を変えたり、形を変えたりするなど、何度もやり直すことができる。
- 文様を複製して、配列を考えながら、数を増やしたり構成したりしながら、文様パターンを試すことができる。
- 発想や構想の後の相互に鑑賞をする際にプレゼンテーションソフトを活用して、容易に提示も説明も行うことができる。

課題設定

発想・構想

制作

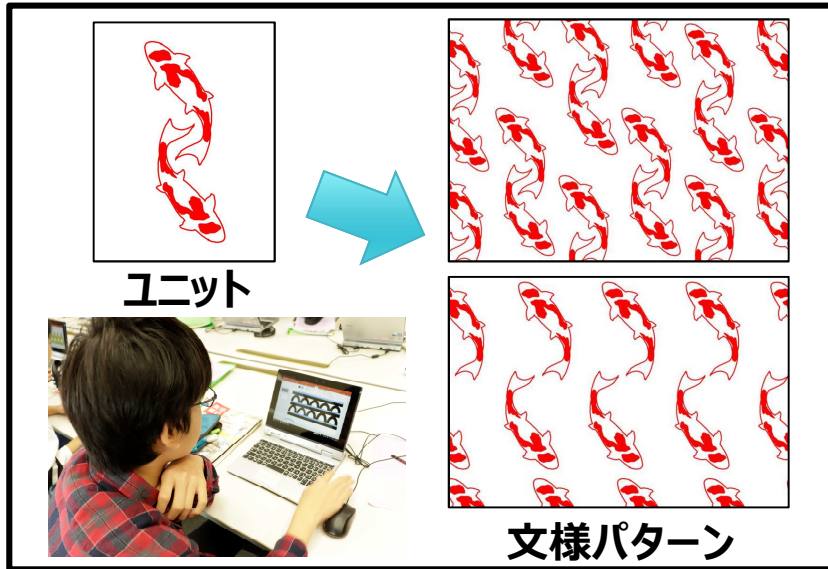
鑑賞

## 事例の概要

本事例では、新潟のよさや特徴を基に生活で活用する文様について考え、繰り返し連続した文様を組合せオリジナルの「にいがた文様」を作成する。発想や構想をする場面では、まず、プレゼンテーションソフトを活用して、生徒は1枚のスライドに文様の基になるユニットを図形ツールなどを使いながら作成する。次に、そのユニットをコピーし、複製して複数貼り付けたり、整列機能を使って並べたりして連続文様を作成した。その後、プレゼンテーションソフトのスライド機能を使って、同じユニットで数種類の違うパターンの文様を作成し、表現の違いを見比べながら、より自分の主題に迫れるような作品にするためには、どのようにしたらよいか考えて制作を行った。

# 中学校・第1年・美術科・私のにいがた文様（デザイン）②

## 【事例におけるICT活用場面①制作】



## 【事例におけるICT活用場面②検討・交流】



## 【事例におけるICT活用場面とメリット】

- 本題材では、表現したい主題を設定し、そこから発想を膨らませ、構想を練る段階でICT端末を活用する。一人に一台のICT端末があると、発想や構想に活用する資料を調べるのがスムーズにできる。
- 発想や構想する場面では、プレゼンテーションソフトを活用することで、描画に関しても優れた機能が使えるので、図形ツールを組合せたり、線を引いたりするだけでなく、ICT端末で撮影した画像の線画を抽出したり、トリミングしたりして活用することもできる。紙への描画だと失敗を恐れてなかなか筆が進まない生徒も、何度もやり直せるICT端末での描画は、試行活動を繰り返しながら機能を確認し制作に臨んでいる生徒が多かった。また、文様のユニットさえできれば、幾重にもパターンを検討することができることは、デザインの学習において重要である。
- 複数の文様のパターンと、主題を照らし合わせ、より主題に迫った作品になるよう相互に鑑賞しアドバイスをしあった。これにより生徒は、他者の発言から自身の主題について再考し、より主題が伝わる文様を練り上げていった。
- 本題材では、制作はプレゼンテーションソフトで行ったため、振り返りやまとめの場面でも活用した。最終的に作成した段階のスライドを組み合わせ、ポートフォリオのようにすることができる。制作したプレゼンテーションソフトは学校の共有フォルダに保存し、教師も生徒も自由に観られるようにした。それにより、制作過程を把握でき、バックアップも取ることができ、評価にも活用できた。

【活用したソフトや機能】 プレゼンテーションソフト